

## 教員のICT活用指導力を高めるために —チェックシート（小学校版）の活用—

当センターでは、教員に求められるICT活用指導力について、文部科学省のチェックリストを基に、項目や内容を整理し、具体像を示した一覧表「教員のICT活用指導力チェックシート（小学校版）」を作成した。このチェックシートの内容や活用方法等について紹介する。

### 1 教員のICT活用指導力チェックの現状

教科の目標達成や児童生徒の情報活用能力育成のためには、教員がICTを効果的に活用する必要がある。事務負担を軽減し、児童生徒と向き合う時間を確保するといった校務の情報化の視点からもICT活用は大変重要であり、その充実のためには、教員のICT活用指導力が欠かせない。

教員一人一人のICT活用指導力の把握には、文部科学省が作成した「教員のICT活用指導力のチェックリスト」が使われている。これには、小学校版（図1）と中学校・高等学校版の2種類があり、校種に応じて使われている。

このリストでは、AからEの5つの大項目（表1）に分類された計18項目のチェック事項が設定され、教員は、各項目について自己

の状況を、「4 わりにできる」、「3 ややできる」、「2 あまりできない」、「1 ほとんどできない」の4段階で評価し、チェックするようになっている。

しかし、この方法では、1から4の段階の線引きが不明確で曖昧であることから、評価しづらく、正確な評価結果につながりにくいという課題がある。

表1 ICT活用指導力の分類

- A 教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する能力
- B 授業中にICTを活用して指導する能力
- C 児童生徒のICT活用を指導する能力
- D 情報モラルなどを指導する能力
- E 校務にICTを活用する能力

#### 教員のICT活用指導力のチェックリスト（小学校版）

ICT環境が整備されていることを前提として、以下のA-1からE-2の18項目について右欄の4段階でチェックしてください。

##### A 教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する能力

- A-1 教育効果を上げるには、どの場面にどのようにしてコンピュータやインターネットなどを利用すればよいかを計画する。
- A-2 授業で使う教材や資料などを集めるために、インターネットやCD-ROMなどを活用する。

4 わりにできる	3 ややできる	2 あまりできない	1 ほとんどできない
4	3	2	1
4	3	2	1

図1 「教員のICT活用指導力のチェックリスト（小学校版）」抜粋

## 2 チェックシート作成の方針

### (1) 分類・項目

ICT活用指導力の分類や項目を検討し、新たに再構成した場合、これまでの文部科学省の調査結果との比較が困難になるため、分類や項目については、文部科学省のチェックリストによることにした。

### (2) 判断基準

「4 わりにできる」から「1 ほとんどできない」までの4段階評価は、どのような状態がどの段階に該当するのか判断しにくいため、判断基準として段階ごとの具体像を示すこととした。

### (3) 達成状況把握

できないことを確認するのではなく、できるようになったことを評価するという考え方から、「1 ほとんどできない」の段階には、ICT活用以外の方法でできることを示すこととした。

### (4) 各段階のポイント

4から1の段階は、以下のようなポイントに従って設定した。

段階	設定のポイント
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT活用のリーダーとして他の職員に指導できる。</li> <li>ICT活用に関する専門的な知識や技能を備えている。</li> <li>様々なICT機器を組み合わせた効果的な活用の仕方を提案することができる。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で基本的なICT活用を行うことができる。</li> <li>ICT活用に関する基本的な知識や技能を備えている。</li> <li>幾つかのICT機器を効果的に活用することができます。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援を受けて、基本的なICT活用を行うことができる。</li> <li>ICT活用に関する基本的な知識や技能がやや不足している。</li> </ul>
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT活用について、あまり積極的ではないが、ICT以外の方法で効果的な指導を行うことができる。</li> <li>ICT活用に関する基本的な知識や技能が備わっていない。</li> </ul>

おおむねこのような基準で4～1の段階を決定したが、項目によっては、独自のポイントを設定しているものもある。チェックシート（小学校版）の一部を以下に紹介する。

## 3 チェックシートの内容（一部抜粋）

### (1) 教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する力



図2 ICT機器で資料作成

#### A-3

授業に必要なプリントや提示資料を作成するためには、ワープロソフトやプレゼンテーションソフトなどを活用する。

段階	具体像	ポイント
4	ワープロソフトやプレゼンテーションソフトを使った資料作成の方法を指導できる。	<input type="radio"/> 活用リーダー <input type="radio"/> ICT活用普及
3	ワープロソフトやプレゼンテーションソフトを使って資料作成ができる。	<input type="radio"/> 個人での活用 <input type="radio"/> 支援不要
2	既に作成済みのプリントやスライドを活用することができます。	<input type="radio"/> 部分的な活用 <input type="radio"/> 要一部支援
1	手書きで、温もりのあるプリントを作成することができる。	<input type="radio"/> ICT以外活用

### (2) 授業中にICTを活用して指導する能力



図3 資料を効果的に提示

#### B-1

学習に対する児童の興味・関心を高めるために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する。

段階	具体像	ポイント
4	様々なICT機器で資料を効果的に提示して、児童の興味・関心を高めることができる。	<input type="radio"/> 様々な機器の活用
3	実物投影機で資料を効果的に提示して、児童生徒の興味・関心を高めることができる。	<input type="radio"/> 実物投影機の活用

2	支援を受けて、児童の興味・関心を高める提示資料を準備することができる。	○他職員の支援 ○既作成資料の活用
1	一枚絵や掛け図、掲示用の地図などを効果的に提示することができる。	○ICT以外の掲示物の活用

### (3) 児童のICT活用を指導する能力



図4 機器操作の指導

C-1	児童がコンピュータやインターネットなどを活用して、情報を収集したり選択したりできるように指導する。
-----	---

段階	具体像	ポイント
4	必要な情報をWeb、メール、SNS等の様々な方法で収集し、取捨選択できるよう指導できる。	○複数の方法
3	Webブラウザや検索サイトの使い方を指導することができます。	○基本となる検索方法
2	電話のかけ方やインタビューの仕方を児童に指導することができます。	○日常生活との関連
1	教科書や資料集、図書館の本などの中から情報を収集させることができる。	○ICT以外の収集方法

### (4) 情報モラルなどを指導する能力



図5 著作権についての指導

D-2	児童が情報社会の一員としてルールやマナーを守って、情報を集めたり発信したりできるように指導する。
-----	--

段階	具体像	ポイント
4	著作権や個人情報の保護などのルールについて、正しく指導することができる。	○法の理解
3	うそや曖昧な情報が社会に与える影響について考えさせることができる。	○社会への影響
2	あふれる情報の中には、必ずしも正しい情報ばかりでないことに気付かせることができる。	○日常生活との関連
1	図書館の本の貸し出しルールについて指導することができる。	○ICT以外の情報収集のルール

### (5) 校務にICTを活用する能力



図6 職員会議資料の作成

E-1	校務分掌や学級経営に必要な情報をインターネットなどで集めて、ワープロソフトや表計算ソフトなどを活用して文書や資料などを作成する。
-----	--

段階	具体像	ポイント
4	ネットワークを駆使して集めた情報を使って、目的に合った新しい資料を作成することができる。	○新たな資料の作成
3	Web、メール等の様々な方法で集めた情報を加えて、既存の資料を修正することができる。	○既存の資料の修正
2	必要な情報をWeb上で探すことができる。	○基本的な情報収集方法 ○基礎となる操作スキル
1	手書きで見やすい資料を作成することができる。	○ICT以外の方法での資料作成

AからEの各分類の中から1項目を紹介した。それぞれの分類の内容を把握することができたと思うが、全ての分類でバランスよく4や3の評価になるようにすることが大切である。

## 4 チェックシートの活用方法

### (1) 文部科学省チェックリストの補助資料

当センターが作成したチェックシートは、それぞれの段階で求められるICT活用指導力の具体像を示しているので、判断基準が明確であり、評価しやすい。

また、基になる評価項目や分類を文部科学省版のものと同一にしているので、文部科学省の調査の際には、補助資料として活用することが可能である。

### (2) ICT活用指導力の全体像把握

当センターが作成したチェックシートでは、18のチェック項目それぞれについて、4段階の具体像を設定しているので、72項目のICT活用指導力に関する教員の姿が示されている。最終目標は、この全ての項目を実現することである。

したがって、できるようになった項目を一つずつ消去するようにすると今後の励みになるのではないかと考え、プレゼンテーションソフトで右のようなデジタルチェックシート（図7）を作成した。各項目の左上をクリックすると文字が消え、背後に隠れた画像が表示されるようになっている。

なお、実際のICT活用に焦点化するために、「1 ほとんどできない」の具体像18項目を除いた54項目で構成した。また、背景の画像は簡単に変更できるので、気に入った写真やイラスト等に変更して自校版チェックシートにカスタマイズするのもよいだろう。

### (3) ダウンロードして自由に活用

右のデジタルチェックシートと72項目全てを網羅したエクセルシート版チェックシートは、当センターのWebページから誰でもダウンロードできるようになっているので、いつでも活用することができる。個人の利用だけでなく、4月当初の校内研修でます全員がダウンロードして、年間を通して日常的にICT活用指導力をチェックするのもよいだろう。

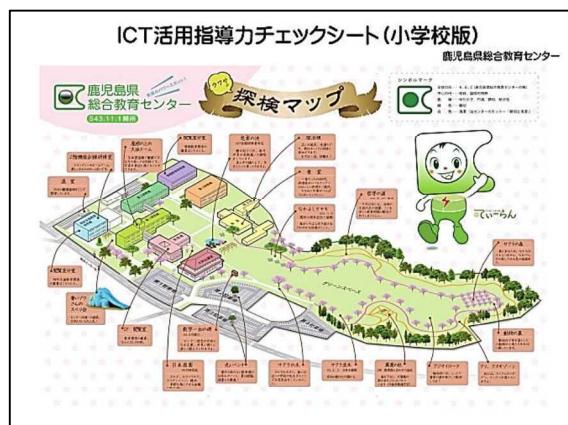
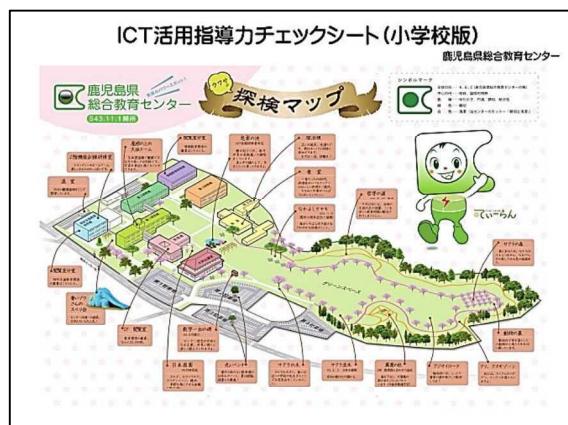
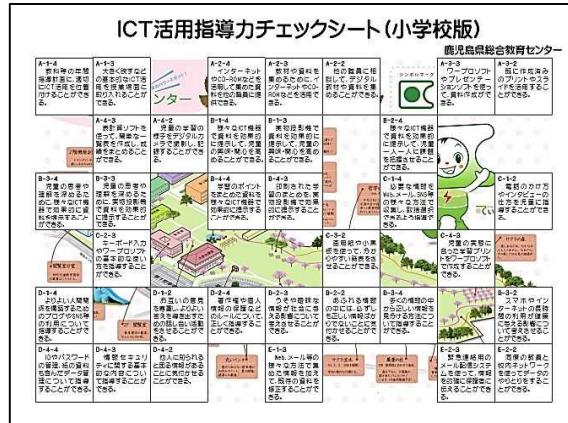


図7 デジタルチェックシート

チェックシートダウンロード URL

<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/curriculum/jyouhoukyou/top.html>

—引用・参考文献・イラストー

○ 文部科学省『教育の情報化に関する手引』

(情報教育研修課 図師 弘秋)